学校番号	211

令和5年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校　言語文化　（第一学習社）						
副教材	新版　読み・解き・覚える「日本文学史必携」（第一学習社） 新訂　総合国語便覧（第一学習社） 国語便覧ワークノート（第一学習社） 学ぶぞ　古文と漢文（尚文出版） 学ぶぞ　古文と漢文　基本練習ノート（尚文出版） 改訂版入試対策ベストセレクション　古文単語325（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

・1年間で、基礎的な言語文化の知識と、論理的な表現力を身に付けましょう。
・文章記述、話し合い、発表などは主体的に取り組みましょう。
・古典の時間は古文や漢文に親しみ、読み味わいましょう。
・予習と復習により、学習内容の定着を図りましょう。
・集中して勉強することで、定期考査で基本的学力を定着させる機会にしましょう。

2 学習の到達目標

【a観点】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
【b観点】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【c観点】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。
評価の方法	小テスト、定期考査 学習課題の提出	小テスト、定期考査 発表・報告 行動の観察 リフレクションシート ポートフォリオ等	学習課題の提出 授業態度 行動の観察 リフレクションシート等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価基準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古典の文章にふれる 【教材】 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	a. 歴史的仮名遣いや古今異義語について文語のきまりを理解する。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b. (読)古典の文章に触れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 b. (読)説話というジャンルを踏まえて内容や展開を捉える。 c. 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	古典の文章に慣れる 【教材】 「なよ竹のかぐや姫」	a. 主として動詞、形容詞、形容動詞の活用について、文語の決まりを理解する。 a. 古語辞典の引き方に慣れ、語句の量を増やし語彙を豊かにする。 b. (読)古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 c. 文の構成単位を理解し、学習の見通しをもって文を文節や単語に分けようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	現代文と古典を読み比べ、テーマを考える 【教材】 「羅生門」 「今昔物語集」	a. 用言の活用について文法の決まりを理解する。 a. 助詞、助動詞の働きについて理解する。 a. 語句の量を増やし語彙を豊かにする。 b. (読)(書)「羅生門」と「羅城門の上層に･･･」を読み比べ、主題について考察する。 b. (話/聞)考察に基づいて意見を交流する。 c. 二つの作品を読み比べるために積極的に古文を理解したり、その他の資料を調べようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
2学期	漢文の学習 訓読に親しむ 【教材】 「訓読に親しむ」 「漁夫之利」	a. 漢文を訓読するための基礎知識として返り点の種類と使い方を習得する。 a. 漢文を訓読するための基礎知識として、助字、再読文字の働き、読み方を習得する。 a. 故事成語や格言に多く触れることにより、語彙を豊かにする。 b. (読)漢文の内容を理解し、故事成語が成立した由来を理解する。 c. 学習した故事成語や格言を日常の言語活動の中で積極的に取り入れ、表現の幅を増やそうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

	古今の韻文味わう 【教材】 「和歌」「漢詩」 「現代詩」 「俳句」	a. それぞれの韻文の決まりや修辞を理解する。 b. (読)和漢それぞれの韻文・詩の特徴をふまえ、鑑賞のしかたを理解し代表的な作品を味わう。 b. (話)(読)音読することで韻文のリズムを読み、味わう。 c. 繰り返し音読し、積極的に韻文のリズムを理解しようとする。 c. 積極的にリズムのある韻文を作り、鑑賞しあおうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	随筆を読み比べる 【教材】 「枕草子」 「つれづれ草」	a. 主に助動詞の働きについて理解する。 a. これまでの古文学習の知識を生かし、描かれている人物に注目して本文を理解する。 b. (書)作品に表れたものの見方、美意識を理解し、学習課題にそって自分の考えをまとめようとする。 c. 積極的に現代の随筆作品に触れ、古来からの我が国の言語文化について理解しようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
3学期 12時間	漢文の学習 【教材】 臥薪嘗胆	a. 訓読の決まりを理解する。 a. 古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 b. (読)史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取る。 b. (読)長めの史伝を読み、登場人物の言動を理解し、そこに表れたものの見方や感じ方を捉えようとする。 c. 故事成語が現代の日本の生活の中でどのように息づいているかを理解し、積極的に使おうとする、	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	古典のしるべ 平家物語 【教材】 「祇園精舎」 「木曽の最期」	a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 a. 主に敬語について文語の決まりを理解する。 b. (読)合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 b(読)「軍記物語」という種類を踏まえ、作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え理解する。 b. (話/聞)群読で工夫して作品世界を表現する。 c. 文体や歴史的背景を踏まえて本文を読み、自分の考えを表現しようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

年間の各領域時間数
・書くこと 〔10 時間〕
・読むこと〔45時間〕
・読むこと(近代以降)〔20時間〕